

令和5年度診療科別目標発表



外科

医師の紹介

外科

専門領域	氏名	役職等
胃外科	神谷 欣志 (甲状腺外科)	統括診療部長兼、外科科部長、手術室長
	島村 隆浩	科長
大腸外科	中村 利夫	院長
	姜 建宇	科長、がんゲノム医療室付科長
	岡本 和哉	科長、診療技術部臨床栄養科長、緩和ケアセンターがん・緩和ケア支援室科長
肝胆膵外科	前間 篤	科長、医療支援センター入退院支援担当室長
	東 正樹	科長、教育研修担当部長
血管外科	西山 元啓	科長
	矢田 達朗	医長
	白川 元昭	非常勤医
一般外科、消化器外科	近藤 里江	医長 (R5.3~R5.10)
	白木 巧	医員
	黒田 昂宏	医員
小児外科	藤代 準	非常勤医

短期目標・令和4～5年度の目標

外科

昨年度スライド

No.	項目	目標
1	患者数、手術件数など	令和元年度(コロナ前)の水準に戻す 外来患者数： 112人/日 (+11人) 入院患者数： 46人/日 (+2人) 新入院患者数： 104人/月 (+8人) 手術室手術件数： 78件/月 (+5件)
2	高度ながん医療の提供	術後合併症の軽減 手術死亡 0 大腸がん:低侵襲手術率 90%を維持 胃がんの低侵襲手術率を増大
3	若手外科医の育成	当院から年1人以上の外科専攻医を継続して輩出

診療実績



外科

コロナ前

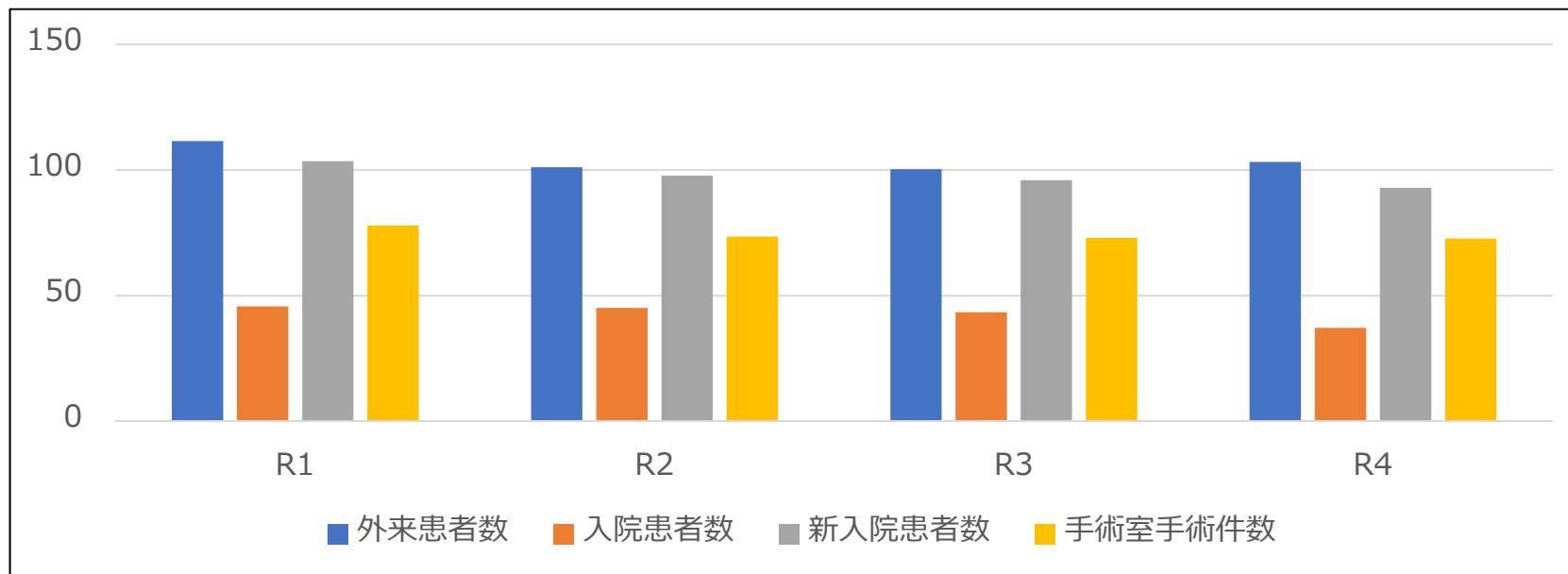
主な診療実績	R1	R2	R3	R4
外来患者数	111.5人/日	101.1人/日	100.3人/日	103.2人/日
入院患者数	45.7人/日	45.1人/日	43.4人/日	37.2人/日
新入院患者数	103.5人/月	97.7人/月	95.9人/月	92.9人/月
手術室手術件数	77.9件/月	73.5件/月	73.0件/月	72.7件/月
DPC病名別症例数	R1	R2	R3	R4
虫垂炎	131人/年	127人/年	125人/年	113人/年
ヘルニアの記載のない腸閉塞	120人/年	116人/年	106人/年	116人/年
鼠径ヘルニア	112人/年	124人/年	99人/年	83人/年
結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	99人/年	101人/年	99人/年	76人/年

girasol抽出データ(MDC6分類)による
乳腺外科症例は除く

患者数など

外科

目標：2019年（コロナ前）の水準に戻す

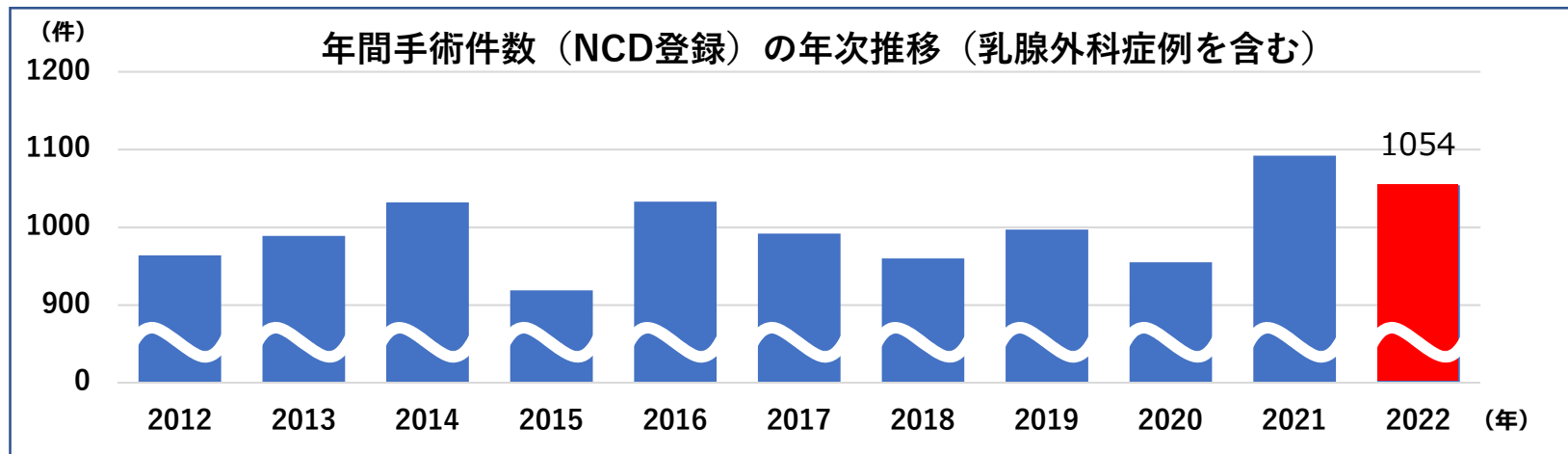


- ✓ 外来患者数、手術室手術件数は大きく落ち込むことなくコロナ前水準に近付きつつありますが、入院患者数、新入院患者数はコロナ後の減少傾向が未だ続いています。
- ✓ 新規入院患者の獲得が最も重要な課題と考えています。

手術件数

外科

目標：2019年（コロナ前）の水準に戻す



主な領域別手術件数

手術領域	2020	2021	2022
胃切除、胃全摘	37	22	32
結腸・直腸切除	148	163	128
肝切除	18	13	14
膵切除	18	16	9
大血管	33	32	16
末梢血管	112	106	99
甲状腺	10	12	10

- ✓ 2022年の総手術件数は、21年よりも若干減少したものの、コロナ以前のレベルをクリアできました。
- ✓ 良性疾患や緊急手術症例は多いものの、消化器がんや大血管、末梢血管の手術件数は、一部を除いて減少が続いています。コロナ禍の影響（患者数の減少）が大きいと考えています。

高度ながん医療の提供



藤枝市立総合病院
Fujieda Municipal General Hospital

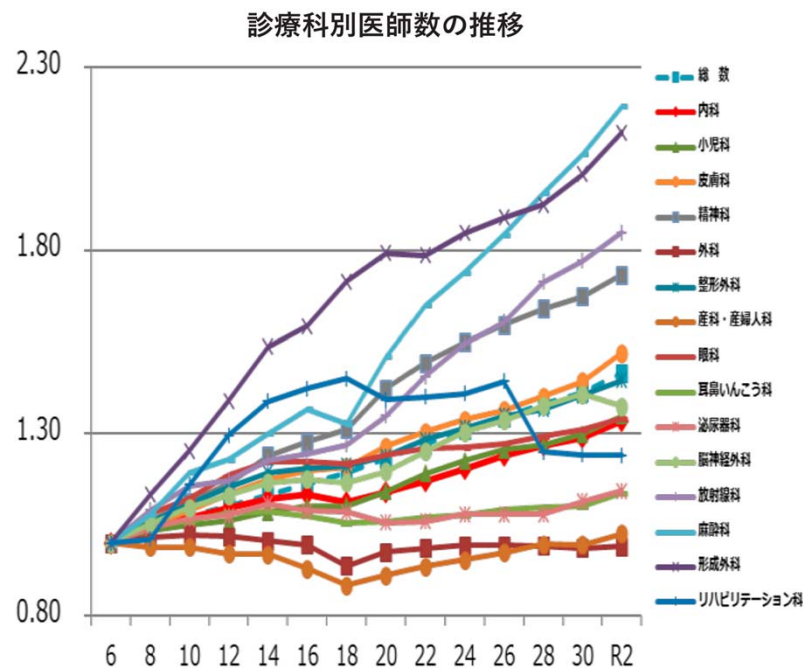
外科

✓ 低侵襲手術割合

	2021年	2022年
大腸がん根治手術	92.0%	90.7%
胃がん根治手術	40.0%	43.8%

- ✓ 大腸がんは90%維持を、胃がんでは低侵襲手術の割合増加を目指してまいります。

当院研修医から1名の外科専攻医が誕生（令和5年度）



令和4年版厚生労働白書より

当院からの外科専攻医の誕生

H27 1名（浜松医大）

⋮

R3 4名（浜松医大）

R4 1名（東京大学）

令和5年度も当院研修医より1名の外科研修プログラム参加者を輩出することが出来ました。

振り返り 令和4年度の目標と結果

外科

No.	項目	目標	結果、課題
1	患者数、手術件数など	令和元年度の水準に戻す 外来患者数： 112人/日 入院患者数： 46人/日 新入院患者数： 104人/月 手術室手術件数： 78件/月	 ・新入院患者の獲得 ・紹介患者を増やす
2	高度ながん医療の提供	術後合併症の軽減 手術死亡 0 大腸がん: 低侵襲手術率 90%を維持	 ・手術死亡 1 ・低侵襲手術率 大腸がん: 90.7% 胃がん: 43.8%
3	若手外科医の育成	当院から年1人以上の外科専攻医を継続して輩出	 1名の外科専攻医を輩出

当科の特徴、強味

外科

- ✓ **充実した外科指導体制（外科専門医9名、指導医6名）**
- ✓ **各領域に2名以上の専門性の高いスタッフを配置**
 - ✓ 消化器（上部、下部、肝胆膵）、血管の4領域をそれぞれの手術経験が豊富な専門医が担当
 - ✓ 消化器外科専門医・指導医7名、大腸肛門専門医・指導医4名、脈管学会専門医2名、腹部ステントグラフト指導医2名、など
 - ✓ 乳腺外科、心臓血管外科、呼吸器外科との連携によりより高度な治療を実施
- ✓ **がん診療連携拠点病院としての高度ながん診療の提供**
 - ✓ 低侵襲手術（腹腔鏡下手術）への積極的な取り組み

腹腔鏡下手術割合	2021年	2022年
大腸がん根治手術	92.0%	90.7%
胃がん根治手術	40.0%	43.8%

- ✓ **志太・榛原地区唯一の急性動脈疾患（閉塞、破裂）に対する緊急治療体制の確立**

中期目標・令和8年度に目指す姿

外科



志太・榛原地区の基幹病院としてより強固な外科医療体制を構築する

- 地域に密着したきめ細かな医療の実践
 - 医師会・診療所との連携強化、患者のニーズに合わせた医療の提供、信頼の獲得
- 地域がん診療連携拠点病院としての高度ながん医療の提供
 - 合併症のない安全な標準治療の提供、低侵襲治療の充実、高度進行がんへの挑戦
- 地域に貢献する若手外科医の継続した育成

短期目標・令和5～6年度の目標

外科

No.	項目	目標
1	患者数、手術件数など	新規入院患者の獲得 新入院患者 100人/月
2	高度ながん医療の提供	術後合併症の軽減 手術死亡 0 大腸がん:低侵襲手術率 90%を維持 胃がんの低侵襲手術率を増大
3	若手外科医の育成	当院から年1人以上の外科専攻医を継続して輩出

目標達成に向けた取組

外科

No.	項目	取組内容
1	医師会・診療所との連携強化	<ul style="list-style-type: none">・医師会の先生方への働きかけ(訪問、診療内容紹介資料の送付、各種機関誌への投稿)・交流の場となる講演会などへの積極的な参加・紹介患者への迅速な対応・逆紹介率の維持
2	合併症のない安全な手術の実践	<ul style="list-style-type: none">・術前・術後カンファレンスの充実(MMカンファレンス)・抗菌薬適正使用支援チーム、栄養支援チーム、リハビリテーション科(がんリハ)などとの連携強化・医療安全文化の涵養
3	低侵襲手術の拡充	<ul style="list-style-type: none">・院内ビデオカンファレンスの定期開催・学会、講演会での情報収集
4	若手外科医の育成	<ul style="list-style-type: none">・外科の魅力の伝承・働き方改革・新たな教育システムの構築

決 意

志太・榛原地区の基幹病院として
より強固な外科医療体制を構築するよう
努力を重ねていきたいと思えます。